

# 濃尾平野における 地盤沈下等の状況について

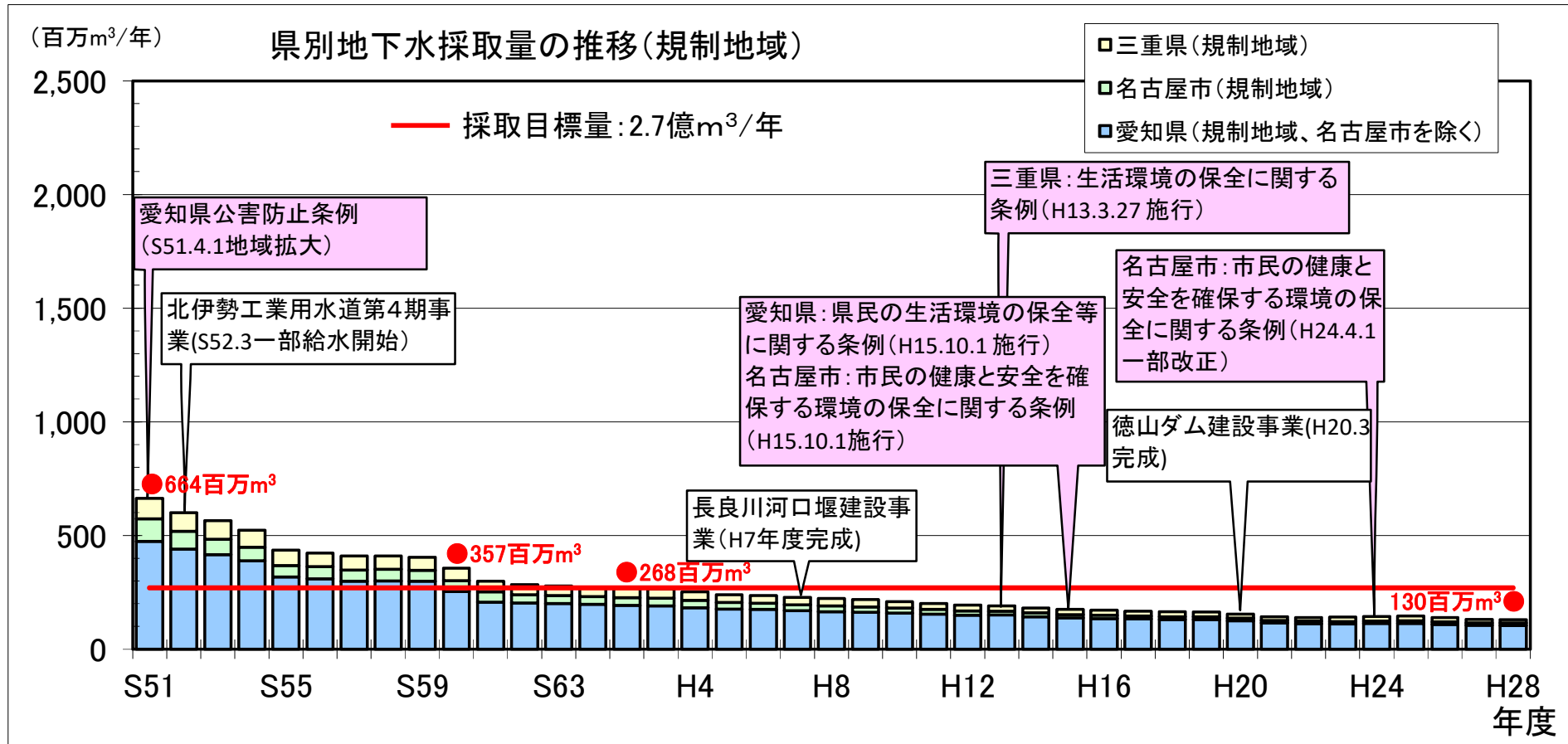
---

令和2年2月  
国土交通省 水管理・国土保全局 水資源部

# 1. 地下水採取量の経年変化

## 濃尾平野

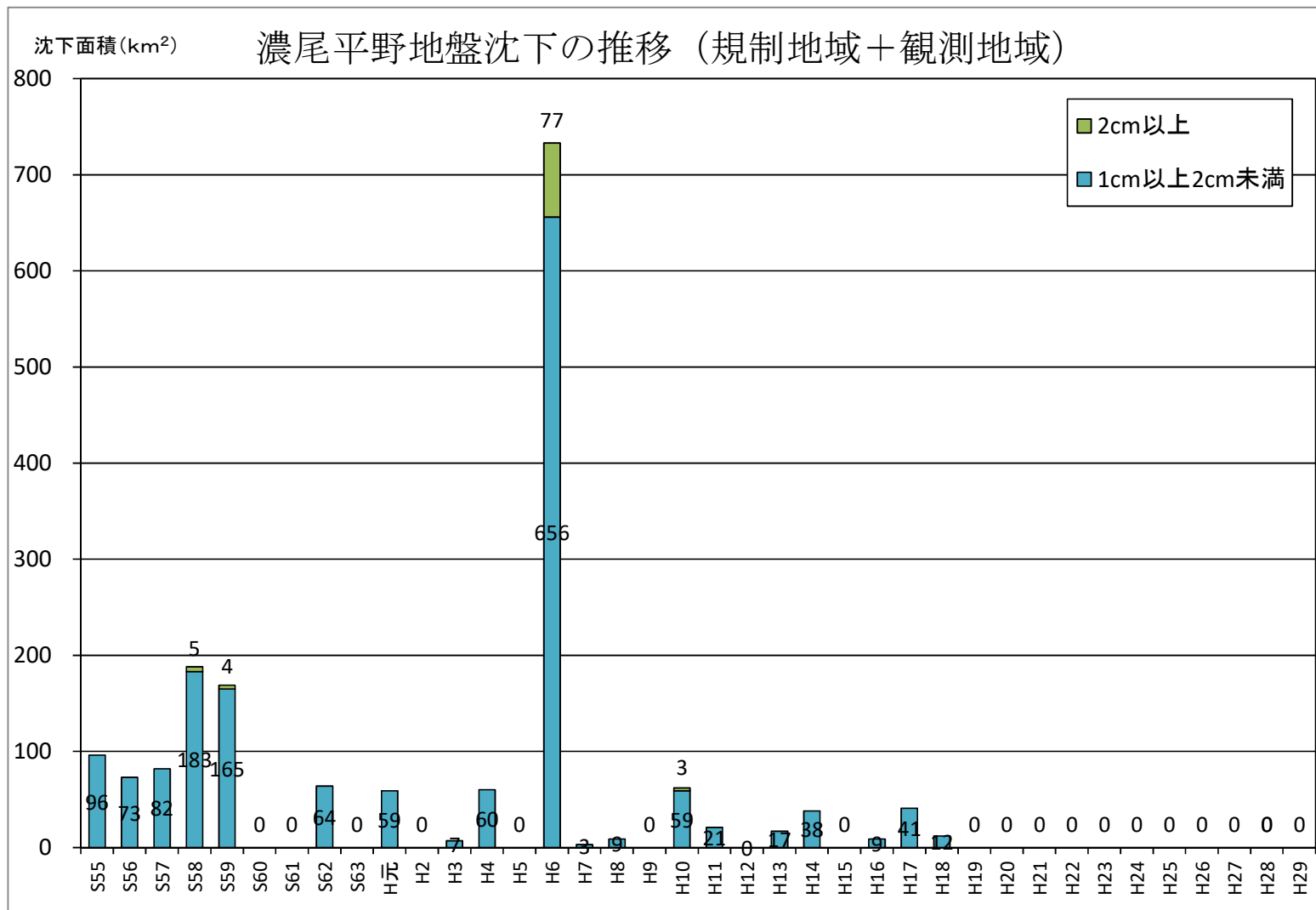
年間の地下水採取量は、地盤沈下防止等対策要綱による総合的な対策（地下水採取規制に係わる条例の施行、代替水源の確保、代替水の供給事業等の完成など）によって、各地域の地下水採取量は減少。



## 2. 地盤沈下面積の経年変化

## 濃尾平野

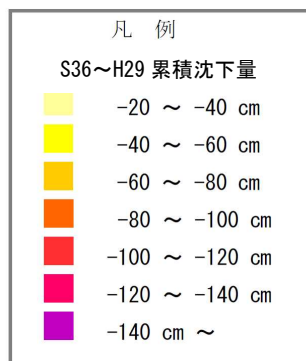
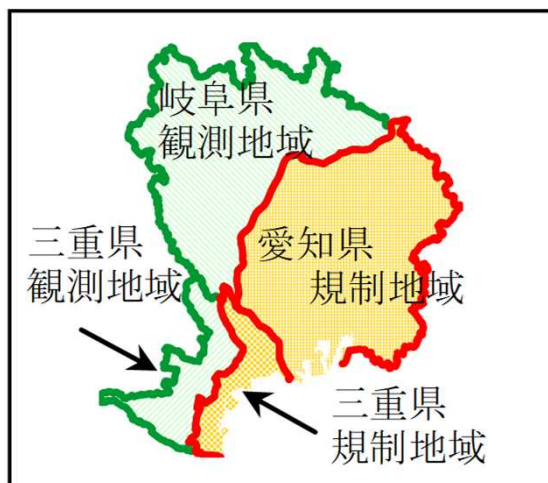
データのある昭和55年以降、地盤沈下面積は減少傾向にあり、平成19年以降の年間1cm以上の地盤沈下面積はゼロである。ただし、渇水であった平成6年には地盤沈下面積が増加した。



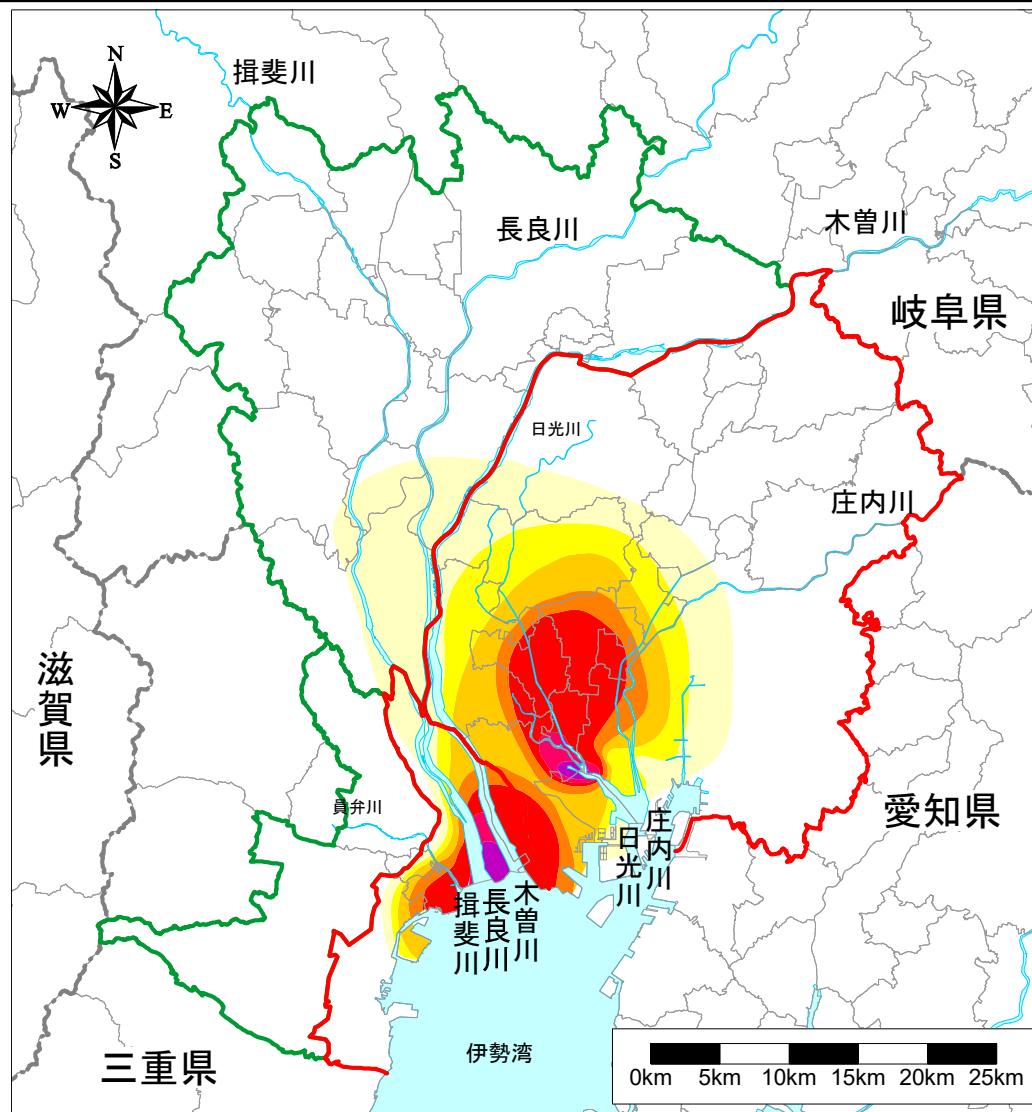
### 3. 地盤沈下の状況

## 濃尾平野

昭和36年以降の累積地盤沈下量は、昭和36年から昭和50年代初め頃まで沈下の進行が顕著であり、その後、地盤沈下は沈静化。木曾三川の河口部、庄内川流域で、最大1m以上に達する。



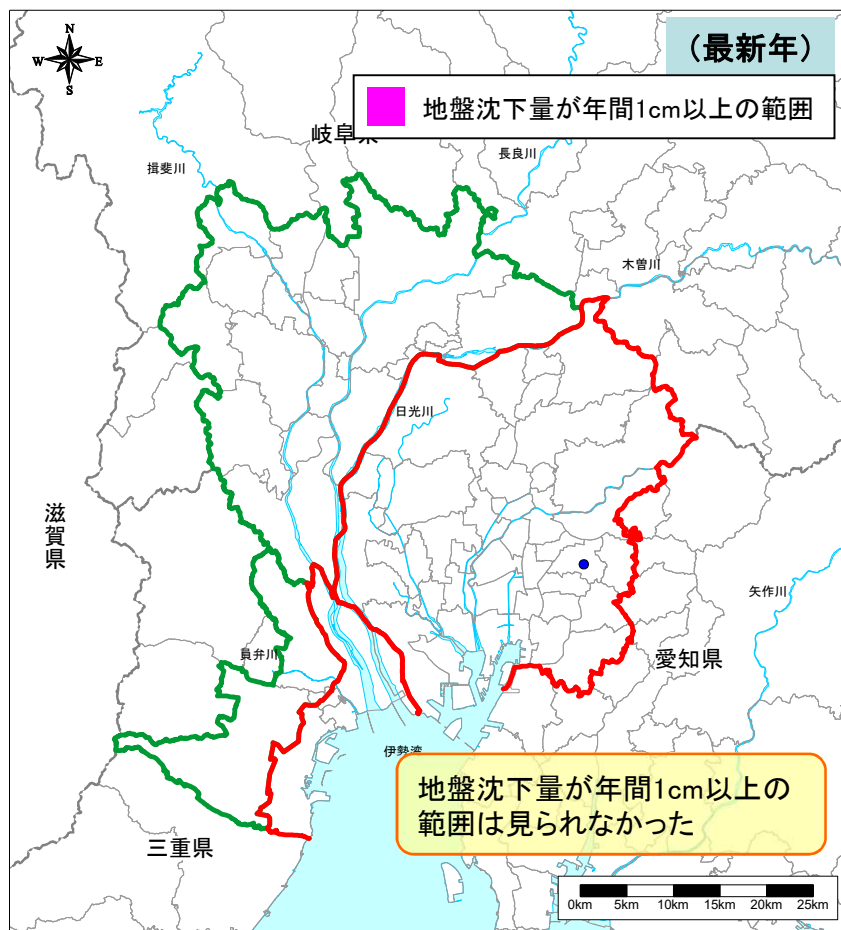
累積地盤沈下量等量線図  
(昭和36年2月~平成29年11月)



### 3. 地盤沈下の状況

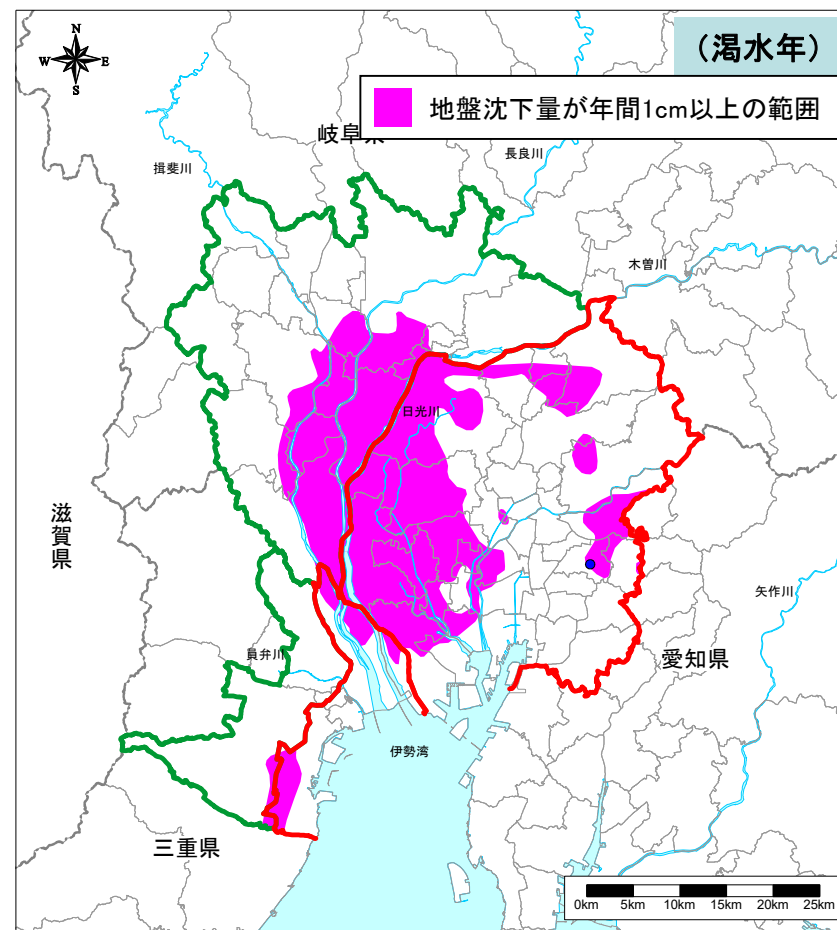
## 濃尾平野

平成28年～平成29年の1年間で、年間1cm以上の地盤沈下の範囲は無かった。ただし、渇水であった平成6年には地盤沈下面積が増加した。



● : 名古屋気象観測所 年間降水量: 1,702mm(名古屋)

地盤沈下量が年間1cm以上の範囲図  
(平成28年11月1日～平成29年11月1日)



● : 名古屋気象観測所 年間降水量: 1,061mm(名古屋)

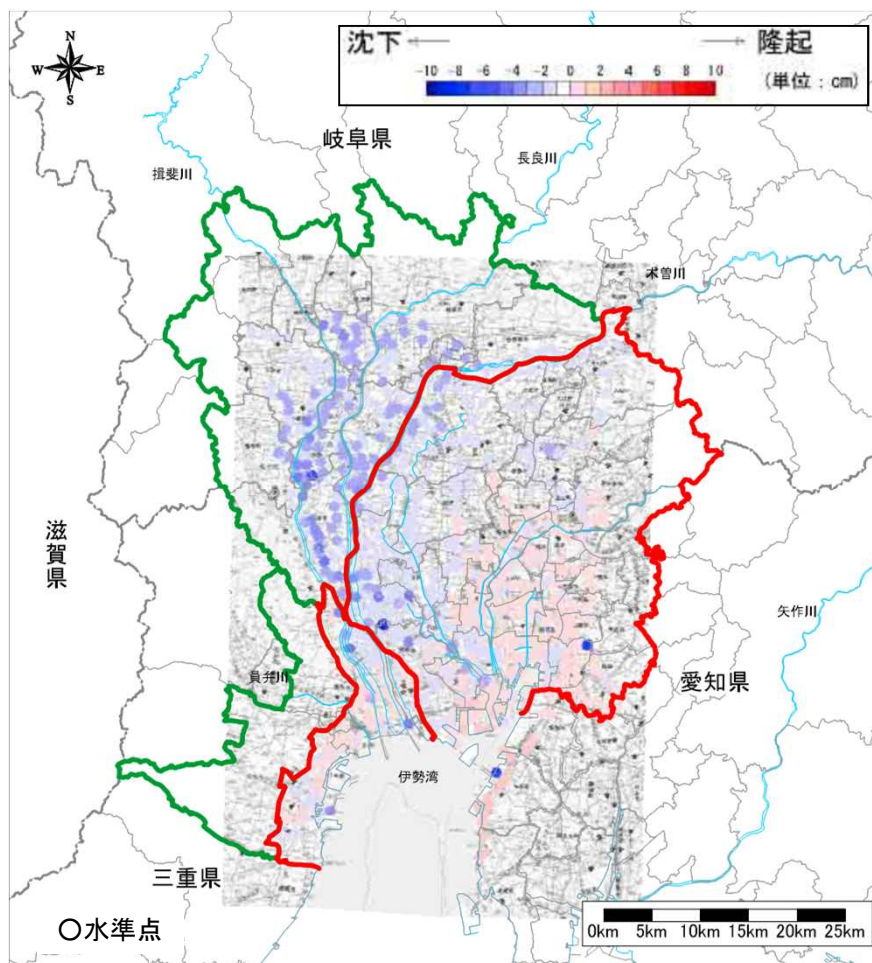
地盤沈下量が年間1cm以上の範囲図  
(平成5年11月1日～平成6年11月1日)



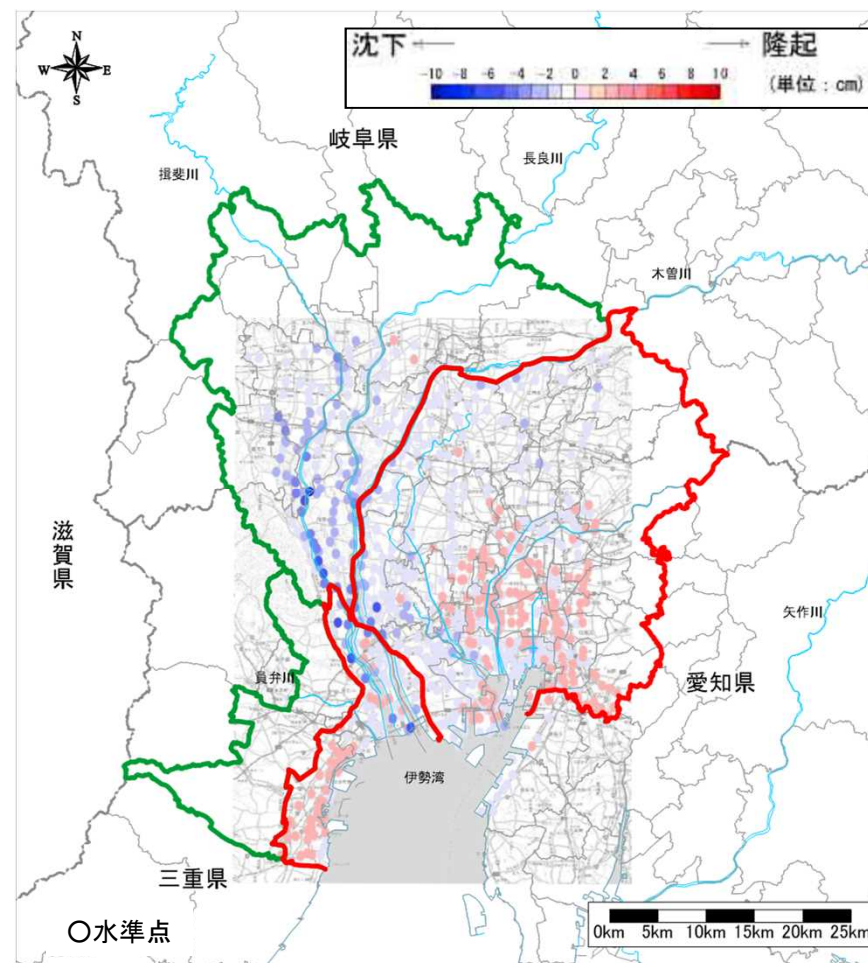
### 3. 地盤沈下の状況

## 濃尾平野

水準点ごとの5年間の累積地盤沈下量で見ると、濃尾平野の中西部を中心に地盤沈下が継続している。2つの時期を比較すると、近年の5年間では地盤沈下量は減少傾向にある。



5年間の累積地盤沈下量図  
(平成20年11月1日～平成25年11月1日)



5年間の累積地盤沈下量図  
(平成25年11月1日～平成30年11月1日)